

# はらり ららはらり



～図書室にはこんな本があります～

No. 101

★ 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問)「徴兵検査」について、閲覧室にある本で調べたい。

答)「徴兵検査」をことばで検索してみます。

※ 新しい検索システムに変わりました。

画面の中ほどの《開架 閉架》の所で、閉架のをはずしてください。  
(触れるとチェックがはずれます。)

開架図書(閲覧室にあるもの)のみが表示されます。

図書 → ことば → 徴兵検査 → 調べる ⇒ 17件該当

新システムの[検索結果一覧]画面の右端に、置き場所が表示(開架・閉架)されました。開架置き of 図書は、自由にご利用ください。

『昭和 第4巻 二万日の全記録』(210.7/073/4)

『昭和日本史7 戦争と民衆』(210.7/Sh97/7)

『「戦前・戦中」用語ものしり物語』(210.75/Ki68)ほか

体験記では、以下の図書があります。

『シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦 7』(916/H51/7)

『シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦 10』(916/H51/10)

『真赤な空は忘れられない』(916/To46)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

## － 主婦の友 昭和 20 年 8 月号 －

今回は昭和 20 年 8 月（終戦の月）に発行された『主婦之友』の編集日記をご紹介します。戦後の生活再建に向けて、主婦としての心構えが記されています。

### 編集日記

#### 八月十五日（水）

大東亜戦争終結の大詔渙発（たいしょうかんぱつ）さる。この日正午、玉音を拝して熱涙滂沱（ねつるいぼうだ）としてくださる。ああ誰かこの日あるを予期せし。痛恨きわまりなく自責かぎりなけれど、おおみことのりの前には、ただただ謹みしがいまつるのみ。

#### 八月十八日（土）

支那事変から八年間、よくも戦いつづけた日本の主婦であった。その主婦は、今また新たなる苦難を負うて戦後の生活建設に出発するのである。行く手はいかにけわしくとも、この大苦難に耐えぬいてこそ日本の家庭は再建されるのだ。われらは、当面する困難の中でも、特に家庭の食糧に重点をおいて八月号を編集した。家庭雑誌『主婦之友』は、戦後の生活再建をめざして、日本の主婦と共に苦難と希望の道を辿（たど）るのである。

#### 八月二十日（月）

今ほど家庭の主婦にとって大きい愛と強い意志の要求されることはない。主婦が苦勞に負けたら家庭は暗くなる。そこには希望も安住もない。苦難を忍ぶ強い意志と、良人（りょうじん）を上げまし子供を力づける深い愛情が妻に母に特に必要である。希望はかかる家庭の上にある。新日本建設の力はここに発する。万世に太平をひらくのは実に家庭の主婦である。日本の主婦は誇りをもって、この大試練に臨まねばならぬ。

『主婦之友 第 29 卷第 8 号（昭和 20 年 8 月）』（051/Sh99/29-8）より

\*旧漢字、旧かなづかいは改めました。



－図書室から－

\*検索システムが新しくなりました。基本的な操作は、前の検索システムと同じですが、ご不明な点はカウンターまでお問い合わせください。

\*資料公開コーナー（1階入口）で「婦人雑誌の表紙」を展示しています。展示期間中（6月10日～7月25日）、閲覧室内に婦人雑誌関連の図書を集めた特設コーナーを設置しています。また、『婦人倶楽部』『主婦之友』を閲覧希望の方は、カウンターにお申し出ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 101

2008年6月22日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1